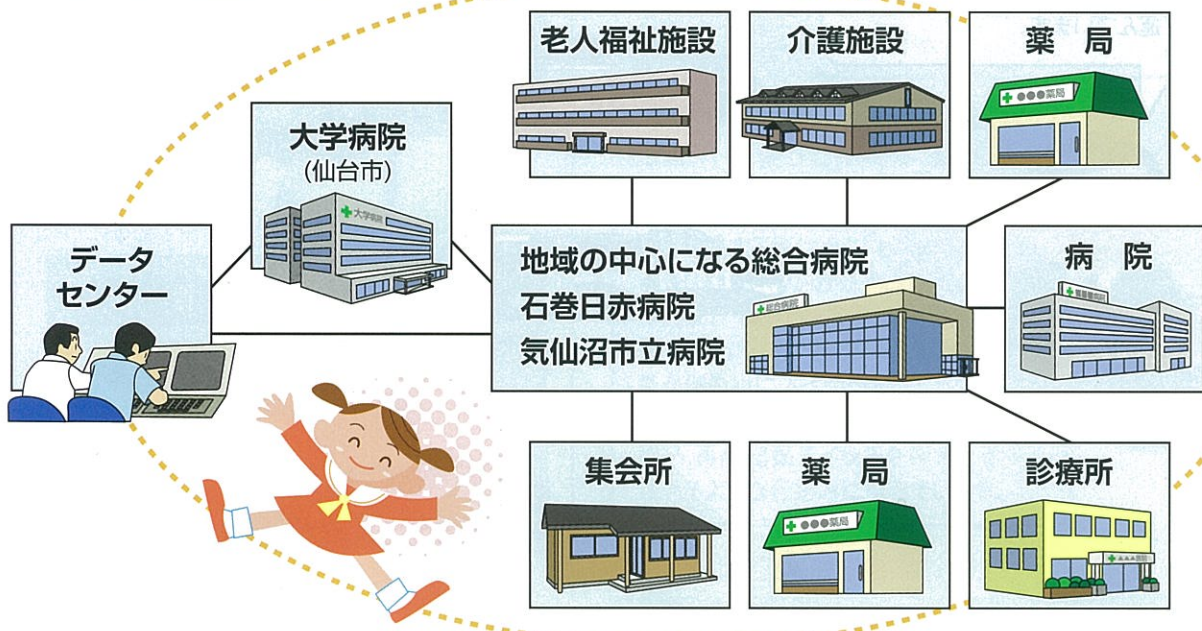


# くらしの中の情報ネットワークの利用

## 情報ネットワークと医療福祉 ～石巻・気仙沼地域の医療福祉情報ネットワーク～

大きな総合病院を中心に、ネットワークでつながれているんだね。また、医療情報を電子化することで、ネットワークを通して情報をやりとりできるようになったね。



2013年現在、74の施設がネットワークに参加しています。石巻、気仙沼地区で約29万人の人々を対象に、ネットワークを広げています。さらに他の地域にも広げる計画です。

### 一人でも多くの人を救うために

東日本大震災では、多くの病院が津波の被害を受け、患者さんのカルテなどもなくなりました。そのため、患者さんがどのような症状だったのか、どのような薬を飲んだらよいかなど、大切な情報がなくなりました。よって、震災で被災した人々に適切な医療をほどこすことができなくなり、「医療情報さえあれば、助けられる命がある…」という思いから、情報ネットワークが必要だと考える人たちが集まり、このネットワークづくりに参加しています。

### 病院から離れて診察

電子カバンは、体温計や心電図計などをそなえた検査機器です。医師、看護師が、患者さんの家で診察した記録が、パソコンを通してデータセンターに自動で送られます。



### 個人情報を守る

患者さんの病気についての情報は大切な個人情報です。そのため、情報がもれないように、また情報を見ることができないよう数々の工夫がされています。



不便なところに住んでいて、病院に行くことができない人も自宅で診察を受けることができるね。

